



- Q48 同工場硬式野球部(1962-1993)は、都市対抗野球大会(全17回出場)において全国優勝(北海道勢で初の快挙)し、黒獅子旗が初めて津軽海峡を渡ったが、それは何年?
- Q49 同工場は事業統合し、社名が現在の日本製紙(株)北海道工場白老事業所となったのはいつ?
- Q50 北吉原地区は、もともとは敷生本村のことだが、昭和40(1965)年10月10日萩野と分割して現在の地名となったが、なぜ北吉原と称されるように?
- Q51 明治11(1878)年に成立した白老郡の大字は三つあったが、敷生、白老とどこ?
- Q52 幻となった竹浦の旧名は?
- Q53 敷生村時代の主な産業は何?
- Q54 地名のいわれとなるほど竹浦は「根曲り竹」の名産地として有名で、大正中ごろからは鉄道を使って全道各地に出荷されたが、それらは主にどのような農作物の手柴(作物のつたをからませる支柱)として使われたか?
- Q55 大正時代は各地で鉄山や鉱山が開発され、飛生では大正7年に北海道製鉄(株)が本格的な採掘に取り掛かったが、これには世界を巻き込んだある戦争が影響している。その戦争とは何?
- Q56 竹浦で大正9(1920)年12月に起きた大惨事は?

- Q41 ポロト湖畔に開設された「民族共生象徴空間」(ウポポイ)の開業年月日は?
- Q42 昭和14(1939)年の字名改正までの萩野の旧名は?
- Q43 萩野という地名は、明治天皇が「明治14(1881)年9月4日朝、萩の花朝霧を含んで咲きたる野原を眺められ御感あり、萩野と命名せらる」から由来したものであるが、萩野の駐蹕碑は現在どこにある?
- Q44 萩野地区において劣悪な自然環境と戦い、苦心惨胆して幅広く作られてきたが、最終的には昭和55(1980)年に姿を消した農作物は?
- Q45 戦前まで富岸(トンケシ:沼の端)といわれていた萩野前浜は優良な漁場であり、市場もできて、カレイ類やタコ・カニなどが水揚げされ、また、油脂工場もあったが、魚の保冷には町内でとれた氷を利用していた。それはどこで採氷されたもの?
- Q46 古くは北吉原神社や禅照寺付近にあった大正10年4月開校の敷生小学校は、今の何小学校の前身?
- Q47 北吉原駅は昭和40(1965)年10月31日に、ある企業の全額負担(1,800万円(当時))で誕生した駅だが、昭和35(1960)年に創業したその企業の正式名称は?その企業は昭和34(1959)年の工場建設により、約2,000人の工事関係者が入り込み、中通を中心に飲食店50軒が建ち並んで大変華やかであった。創業当時の社員は約600名、最大は昭和51年の1,330人で、全国5,200人の25%に上ったといいます。

